

2025(令和7)年度

総合型選抜(AO)
入学者選抜要項

- システムデザイン工学部
- 未来科学部
- 工学部
- 理工学部

出願期間内に、以下のページにアクセスのうえ、出願開始してください

TDU 東京電機大学 インターネット出願サイト

<https://www.dendai.ac.jp/prospective-students/>

TDU 東京電機大学

■目次

大学【学士課程】のアドミッションポリシー	1
総合型選抜（AO）のアドミッションポリシー（各学部別）	1
1. 募集人員	5
2. 選考日程等	5
3. 出願資格	6
4. 第1次選考の出願について	8
5. 第1次提出課題	11
6. 文献引用の記載例	15
7. 第1次選考	16
8. 第1次選考合格発表	16
9. 第2次選考の出願について	16
10. 第2次選考の会場	17
11. 第2次選考の詳細	18
12. 受験に際しての注意事項	23
13. 最終合格発表	24
14. 入学手続	24
15. 入学手続金および初年度の学費等	25
16. 第2年次以降の学費等	26
17. 入学後に使用するパソコンについて	27
18. 入学前教育の実施について	27
19. よくある質問	28
20. その他	30

■巻末

- ・インターネット出願の手引き
- ・合否照会の方法
- ・入学手続の方法

■個人情報の取扱い

- ・出願および入学手続で提出いただいた個人情報は、「学校法人東京電機大学個人情報保護に関する規程」に従い、入学者選抜、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項、並びに統計的集計、高等学校等への情報提供（個人名は非公表）を行うために利用します。
- ・これらの業務の一部を、東京電機大学が指定した業者に委託することがあります。その場合、個人情報を委託業者に提供することがありますが、提供する情報は必要な範囲内に限定します。予めご了承ください。

■出願に関するお問い合わせ先

東京電機大学 入試センター

★お問い合わせは専用フォームからお願いします <https://form.run/@nyushi-contact>

（回答までに、日曜日・本学休業日をのぞいて、2,3日程度要する場合があります）

お急ぎの場合、TEL03-5284-5151 へお願いします。受付時間：平日・土曜 9:30～17:00 ※日曜日・本学休業日のぞく

◇お問い合わせに際しては、「出願予定者の氏名」「出願する入学者選抜名」「希望する学部・学科（学系）名」

「本学インターネット出願サイトのログインID（※既に取得済の方のみ）」をフォーム内で必ずお知らせください。

◇インターネット出願サイトの操作方法、入学検定料の支払方法、入学志願票の印刷等に関する質問は、

「E 楽サポートセンター」までお問い合わせください（お問い合わせ方法はインターネット出願サイトに掲載しております）。

大学【学士課程】のアドミッションポリシー

東京電機大学は、工学・理学・情報分野における科学技術に興味を持ち、志望する各学部・学科（学系）の教育方針やカリキュラム、研究の内容、求める学生像を十分理解し、本学の教育・研究理念である「技術は人なり」の精神のもと、卒業後、自立した科学技術者として社会への貢献を目指す学生を求めます。

なお、本学では、各学部・学科（学系）のアドミッション・ポリシーを踏まえて、高等学校等の課程や実社会で学んだ以下の学力の3要素を総合的・多面的に評価するため、多種多様な入学者選抜を実施し入学者を受け入れていきます。

- 1 高等学校等の課程で学ぶ知識・技能（特に外国語、数学、理科、国語など）
- 2 思考力・判断力・表現力等の能力
- 3 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

総合型選抜（AO）のアドミッションポリシー（各学部別）

システムデザイン工学部

総合型選抜（AO（アドミッション・オフィス））は、本学部入学に強い意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考は、選考委員による書類選考と個別面接（プレゼンテーション、口頭試問）を実施し、総合的に評価します。この制度では受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学者選抜です。

システムデザイン工学部のアドミッションポリシー（求める人物像）

システムデザイン工学部では、社会環境の変化と科学技術の革新に対応でき、グローバルな環境で社会が真に必要なとするイノベーションを引き起こせる専門技術者を育成します。この本学部の教育理念を十分に理解し、本学部を志望する理由が明確であり、本学部で学ぶにふさわしい基礎学力と活動経験を有している学生を受け入れます。

<情報システム工学科>

システムデザイン工学部のアドミッションポリシーに加え、コンピュータ・ネットワーク・データサイエンスに強い関心を有し、そのような分野での顕著な活動経験（各種コンクールやコンテストで入賞等）がある人。あるいはプログラムの作成経験があり高く評価されている人、優れた公的資格（情報処理、英語検定、数学検定、通信技術等）を有する人。

<デザイン工学科>

システムデザイン工学部のアドミッションポリシーに加え、工学と人間・社会科学領域の多様な分野に関心を有し、ひとの魅力的な生活空間の創造に必要なモノ・サービス・空間のデザインについて、もの作り等の顕著な活動経験（各種コンクールやコンテストで入賞等）または実現したい革新的アイディアがある人。あるいはもの作りの作品に対して高く評価されている人、優れた公的資格（情報処理、英語検定、数学検定等）を有する人。

未来科学部

総合型選抜（AO（アドミッション・オフィス））は、本学部への入学を第一志望とし、勉学意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や志願者自身によるプレゼンテーションを実施し、総合的に評価します。

この制度では面接、プレゼンテーションを通じ本人の適性を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学選抜です。

未来科学部のアドミッションポリシー（求める人物像）

未来科学部のモットー「プロの能力、豊かな教養」に強い共感を持ち、未来科学部を志望する固有の理由があること。また、本学部において学びたいことを明確に持っており、学習意欲が高いこと。さらに、各学科の求める人材像に合致していること。

<建築学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに合致することに加え、地域や建築にまつわるデザイン・文化・技術などに幅広く興味を持ち、将来建築分野で活躍したいと考えている人。さらに、次のいずれかを満たすこと。

1. 地域や建築に関連した「実績」または「自ら主張できる能力」を有すること。
2. 地域や建築に関連した「顕著な活動経験*」または「優れた公的資格**」を有すること。

*各種設計競技会（コンペ）出場や、社会活動参加など

**難度の高い資格（インテリアコーディネーターや測量士等）や建築物の計画・設計・施工・運用に関連する資格（建築CAD検定試験等）など

<情報メディア学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに加え、情報処理やメディア処理に関して強い関心を有する人。さらに、次のいずれかを満たすこと。

1. 情報処理やメディア処理の分野ですでに資質を発揮しつつある人
2. プログラムやデジタルコンテンツの作成経験があり、周りから高く評価されている人

<ロボット・メカトロニクス学科>

未来科学部のアドミッションポリシーに加え、機械・電気電子・情報・制御からなるメカトロニクス分野に強い関心を有し、次の全てを満たすこと。

1. 数学をはじめとする確かな基礎力をベースに、高度な専門力を身につけたい人
2. ものづくりを通して意欲的かつ独創的な研究者・技術者として社会に貢献したい人

なお、当該分野に関連して自ら主張できる能力または実績、優れた公的資格（数学検定、無線技術等）や顕著な活動経験（各種競技会（コンテスト）出場や社会活動参加など）の経験を有することが望ましい。

工学部

総合型選抜（AO（アドミッション・オフィス））は、本学部への入学を第一志望とし、勉学意欲のある学生を積極的に募集するものです。

選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や口頭試問、志願者自身によるプレゼンテーション等を実施し、一人一人丁寧に審査されます。

この制度では面接を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学者選抜です。

工学部のアドミッションポリシー（求める人物像）

科学技術の中核をなす工学の専門的な知識・技術を備え、安全で快適な社会の発展に貢献できる技術者を養成するという工学部の教育理念を十分に理解し、工学部を志望する理由が明確であり、工学を学ぶにふさわしい基礎学力と資質を有している、次のような学生を受け入れます。

志望する学科の志望理由が明確で、入学後に学びたいことは何かを明確に伝えることが出来る人であり、かつ、数学および理科の勉学に熱意を持ち、志望する学科で身につける技術力を活かして、将来、社会で活躍したいと希望する人。

優れた公的資格（情報処理、英語検定、数学検定、無線技術者等）を有する人か、顕著な活動経験（各種コンクールやコンテストで入賞等）を有する人が、特に望ましい。

総合型選抜（AO（アドミッション・オフィス））は、本学部入学に強い意欲のある学生を積極的に募集するものです。選考方法については、第1次選考として書類による選考、第2次選考は選考委員による個別面接や志願者自身によるプレゼンテーション等を実施し、一人一人丁寧に審査されます。

この制度では面接を重視し、今までの学力試験だけでははかれなかった受験生の人間性や入学後の可能性を探り、また今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容を、総合的かつ多面的に評価する全人評価の入学選抜です。

理工学部のアドミッションポリシー（求める人物像）

理工学部の教育理念「未来型科学技術者の養成・人間性豊かな社会人の養成」について十分に理解した上で、本学部への志望動機が明確で学習意欲の高い学生を積極的に募集します。

また、理工学部各学系に関係する科目が特に好きで優れた成績を修めた人、優れた公的資格（英語検定・TOEIC・数学検定・情報処理等）を有する人、高校時代に顕著な活動歴（各種コンテスト・コンクール入賞・社会貢献活動・クラブ活動で中心的な役割を務めた人等）がある人を、多面的に評価します。

<理学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、理学分野（数学、物理学、化学または数理情報学）に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<生命科学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、生命科学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<情報システムデザイン学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、情報・文化・芸術分野（コンピュータソフトウェアや情報機器の設計・製作、デジタルコンテンツ作品の制作等）に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲と実績がある人。

<機械工学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、機械工学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<電子情報・生体医工学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、電気電子工学分野ならびに生体医工学分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

<建築・都市環境学系>

理工学部のアドミッションポリシーに加え、建築や都市環境の分野に強い興味を持ち、学系をリードして熱心に勉学や研究に取り組む意欲がある人。

1. 募集人員

キャンパス※	学 部	学科・学系	募集人数
東京千住キャンパス	システムデザイン工学部	情報システム工学科 デザイン工学科	各学科・学系とも 若干名
	未来科学部	建築学科 情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科	
	工学部	電気電子工学科 電子システム工学科 応用化学科 機械工学科 先端機械工学科 情報通信工学科	
埼玉鳩山キャンパス	理工学部 (理工学科)	理学系 生命科学系 情報システムデザイン学系 機械工学系 電子情報・生体医工学系 建築・都市環境学系	

※ 通学先のキャンパスは、入学から卒業まで変更ありません。

2. 選考日程等

摘 要	日 程
第1次選考出願期間 (1.出願登録⇒2.書類郵送)	2024年9月12日(木)～9月19日(木) ※消印有効
第1次選考受験票発行日	2024年9月27日(金) 13時～
第1次選考合格発表日	2024年10月8日(火) 13時～
第2次選考出願期間 (出願登録のみ(書類郵送不要))	2024年10月8日(火)～10月11日(金)
第2次選考受験票発行日	2024年10月15日(火) 13時～
第2次選考日	2024年10月19日(土)
最終合格発表日	2024年10月30日(水) 13時～
第1回入学手続期間	2024年10月30日(水)～11月8日(金)
第2回入学手続期間	2025年1月10日(金)～1月20日(月)

3. 出願資格

以下に記す(1)～(3)の条件を全て満たす者。なお、高等学校で下記の配当科目がない場合や出願資格について不明な点がある場合には、2024年9月2日(月)までに必ず本学入試センターへお問い合わせください。

- (1) 本学部への入学を第一志望とする者。
- (2) 以下に記す①～③のいずれかの資格を満たす者。
- ①高等学校(中等教育学校)を卒業した者、または、2025年(令和7年)3月卒業見込みの者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、または、2025年(令和7年)3月修了見込みの者。
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、または、2025年(令和7年)3月までにこれに該当する見込みの者。
- (該当する者は、事前審査が必要です。2024年9月2日(月)までに必ず入試センターへお申し出ください。)
- (3) 以下に記す「①と②(両方)」、もしくは「③」の基準を満たす者
- ①高等学校その他本学が認定する教育機関において、下記科目の単位を履修中または履修済みの者。

学科	科目
普通科	<p>【2025年(令和7年)3月卒業見込みの者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C) ・外国語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ) <p>【旧教育課程履修者(既卒者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B) ・外国語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ)
理数科	<p>【2025年(令和7年)3月卒業見込みの者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ) ・外国語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ) <p>【旧教育課程履修者(既卒者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ) ・外国語(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ)
工業科、 総合学科 および その他の学科	<p>【2025年(令和7年)3月卒業見込みの者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ) ・外国語(英語コミュニケーションⅠ) <p>【旧教育課程履修者(既卒者)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ) ・外国語(コミュニケーション英語Ⅰ)

②学習成績の状況

2025年（令和7年）3月卒業（修了）見込者の下記の学習成績の状況の算出は、在籍学校の第3学年1学期、または前期までの成績とする。（既卒者は卒業（修了）時の成績とする。）

学部	学習成績の状況
システムデザイン工学部	数 学 3. 5 以上かつ、外国語 3. 5 以上
未来科学部	
工学部	
理工学部	数 学 3. 3 以上かつ、外国語 3. 3 以上

※上記の学習成績の状況は、出願資格（3）①に記載された科目のみでなく、入学時から出願時点までの当該教科で修得した全ての科目を含めて算出した値とする。

- 出願時に第3学年1学期までの成績が確定していない場合や、2学期制の学校で出願時に第3学年前期の成績が確定していない場合は、第2学年までの成績とする。（この場合算出されている学習成績の状況は、上記基準を満たす必要がある。）
- 上記により出願をする場合は第3学年1学期または前期の成績が確定次第、速やかに調査書を提出しなければならず、確定した成績が当該成績基準を満たしていない場合には、出願資格を失い、試験に合格していた場合でも合格を取り消すこととする。

③出願資格（2）③で出願予定であり、（3）①、②の基準にあてはまらない者で、事前審査によって本学がそれに相当する学力があると認めた者。（該当する者は、事前審査が必要です。2024年9月2日（月）までに必ず入試センターへお申し出ください。）

※卒業見込みの者が入学までに大学入学資格を満たすことができない場合は、入学者選抜に合格しても入学が認められませんのでご注意ください。

4. 第 1 次選考の出願について

(1) 出願方法

インターネット出願サイトからの出願登録および出願書類の郵送が必要です。

詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を確認の上、手順に従って出願をしてください。

(2) 提出書類（全学部共通）

提出書類	摘要
入学志願票	<p>インターネット出願サイトにて、出願登録および検定料納入後にマイページからダウンロード・印刷をしてください。</p> <p>※詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照。</p>
<p>第 1 次提出課題 (p.11～)</p> <p>※システムデザイン工学部については課題を課していないため、提出不要</p>	<p>課題の内容は、第 1 次提出課題 (p.11～) をご参照ください。</p> <p>① A4 用紙（縦）に横書きで本文は 3～5 枚程度を目安とします。ただし、課題の内容に文字数等の指定が記載されている場合には、その指示に従ってください。</p> <p>② 本文とは別に表紙を付けて、その表紙に志望学科、課題に基づくテーマ、高校名、氏名を必ず記載してください。</p> <p>③ 黒ボールペンで記入してください。なお、パソコンによる作成も可能です。</p> <p>④ イラスト、写真、図、グラフなど文章以外の表現を含むことも可能です。</p> <p>⑤ ページの通し番号を記入してください。</p> <p>⑥ クリップで留めてください。（のり、ホチキスは使用不可）</p> <p>⑦ 文献を引用した、または参考にした場合は、本文の末尾に文献リストを付けてください。文献が書籍の場合は著者名、書籍名、出版元を、WEB の場合はページのタイトルとアドレス (URL) を示してください。また、各文献には通し番号を付けて、本文中で引用した箇所はその番号を挿入してください。なお、生成系 AI の出力や、WEB ページ、書籍などの記載を不適切に使用し、自分の成果（提出物） とすることは不正行為にあたり認められません。</p> <p>※文献引用の記載は文献引用の記載例 (p.15) を参照してください。</p>
志望理由書	<p>本学 WEB サイトの総合型選抜 (AO) ページより、PDF ファイルをダウンロード・印刷をしてください。</p> <p>本学所定様式。</p> <p>①黒ボールペンを使用し、手書きで記入してください(鉛筆や消えるボールペンの使用は不可)。</p> <p>②400 文字以上、800 文字以下で記入してください。</p> <p>③当該学科を志望する理由、またその学科に入学してどのような事を学びたいか、さらに今まで自分が特に取り組んできた活動内容や取得資格をまとめ、記入してください。</p>

(→提出書類は次ページに続く)

活動報告書	<p>本学 WEB サイトの総合型選抜 (AO) ページより、PDF ファイルをダウンロード・印刷をしてください。</p> <p>本学所定様式。</p> <p>①黒ボールペンを使用し、手書きで記入してください(鉛筆や消えるボールペンの使用は不可)。</p> <p>②1200 文字以上、1600 文字以下で記入してください。英語の場合は、300 ワード以上 500 ワード以下で記入してください。</p> <p>③今まで自分が取り組んできた顕著な活動について、記入してください。</p>
成績・卒業に関する証明書	<p>出身学校長が作成し、厳封したもの。</p> <p>①卒業見込み者の場合は、出願日から遡って 3 ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。</p> <p>②卒業者の場合は、出願日から遡って 3 ヶ月以内に発行された調査書を提出してください。ただし、出身校で発行ができない場合は、成績証明書と卒業証明書を提出してください。</p> <p>③高等学校卒業程度認定試験の合格者（合格見込み者）は、出願日から遡って 3 ヶ月以内に発行された合格成績証明書（合格見込成績証明書）を提出してください。</p> <p>◆学校関係者の皆様へ</p> <p>調査書の作成にあたり、以下の点にご注意ください。</p> <p>①出願時に第 3 学年 1 学期または前期の評定を記載できない場合はその理由を付して記載不可としてください。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休校、大会、資格・検定試験等の中止により記載できない場合は、その理由を付した上で、参加予定であった大会名や資格・検定試験名を記載してください。</p> <p>※上記①②は、受験生が記載するものではありません。</p>
その他（任意提出）	<p>①自分が行ってきた活動に対して評価をもらえる第三者からの推薦状を提出しても結構です。(学校関係者、団体役員、法人役員等、ただし親族を除く。捺印または署名が必要です。)</p> <p>②取得資格、賞状等を提出する場合は、必ずコピー (A4 サイズ) を提出してください。</p>

※システムデザイン工学部の志願者は、第 1 次提出課題を除く書類を郵送にて提出してください。

(3) 書類の郵送方法

- ① インターネット出願サイトのマイページから「宛先ラベル」を印刷してください（「入学志願票」と一緒に印刷されます）。
- ② 各自で用意した角 2 サイズ以上の封筒に、「宛先ラベル」を貼ってください。
- ③ 出願書類をすべて封筒内に同封し、郵便局窓口から【簡易書留・速達郵便】で郵送してください。

(4) 提出書類についての注意事項

- ① 出願書類を受理した後は、原則として記載事項の変更および出願書類の返還はいたしません。
- ② 出願書類に不備がある場合、出願者または出身学校などに電話・メール等により個別連絡をします。
- ③ 出願書類に虚偽の記載および不正な申告があった場合は、入学を認めないことがあります。

(5) 入学検定料の納入

入学検定料 10,000 円 (第 1 次選考分)

- ① インターネット出願登録時に、「コンビニエンスストア」「クレジットカード」「ペイジー対応 ATM」から、いずれかのお支払い方法の選択が可能です。また、いずれの支払い方法においても、別途、事務手数料が必要です。事務手数料金額はインターネット出願サイトでご案内しております。
 - ② 詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照してください。
- ※ 上記で選択した方法以外によるお支払いは一切できません。

(6) 受験票の発行について

受験票発行日（「[2.選考日程等](#)」参照）に、受験票が発行されます。受験票の発行により、出願が受理されたことの証明となりますので、各自で確認してください。

5. 第 1 次提出課題

システムデザイン工学部

学科	課題
情報システム工学科	第 1 次提出課題はありません
デザイン工学科	

未来科学部

学科	課題
建築学科	<p>建築基準法（2003 年改正）では、快適で健康的な空間で過ごすため、住宅などのすべての建築物の居室における換気が義務付けられています。また、新型コロナウイルス感染症流行時には“三密回避”が基本的な感染予防対策として推奨され、換気的重要性が再認識されました。このような背景において、以下の 2 つの問いに答えなさい。</p> <p>①住宅などの居室を有する建築物を対象に、換気の定義および目的について解説しなさい。さらに、換気方式のうち第 3 種換気について調べ、他の換気方式（第 1 種・第 2 種）と比較してどのような特徴があるかを説明しなさい。</p> <p>②自宅などの身近な建物（もしくは、居室）における換気環境を調査したうえで、以下のキーワードを考慮してより効果的な換気が行われるための改善策（建築的な工夫など）を考え、図表やイラストでその概要を示しなさい。なお、イラストは、平面図やパース等を用いて調査対象の空間を描くとともに、現在の換気環境および改善策の概要がわかるように記すこと。</p> <p>キーワード：給気・排気、換気方式、汚染物質、健康、ウェルネス</p> <p>* 参考にした文献（新聞や書籍など紙媒体、WEB、企業・自治体のパンフレットなど）や情報があれば、出典を明記してください。</p>
情報メディア学科	<p>文章や画像、ソースコードなどを自動で生成するジェネレーティブ AI（生成 AI）が大きな話題となっており、世界的な議論を巻き起こしています。様々なメリットが期待され、新たなサービスも登場している反面、これまでの社会の仕組みや文化を変えるような問題も取り沙汰されています。このことを踏まえて、以下 (1) ~ (3) の問いに答えてください。図表や参考文献の扱いは、全体の注意事項に従うこととします。</p> <p>(1) ジェネレーティブ AI の例を 1 つ挙げ、その内容を説明してください。</p> <p>(2) 上記 (1) で述べたジェネレーティブ AI の基盤となっている技術を挙げ、その仕組みと特徴を述べてください。同時に、当該ジェネレーティブ AI が抱える課題や問題点を、技術的な面および社会的な面双方から挙げてください。</p> <p>(3) 上記 (2) で挙げた課題や問題点に対して、当該技術や社会の仕組みがどのように進歩すれば良いと思うか、またそれらの進歩がもたらす我々の生活の未来像についてあなたの考えを述べてください。そして、あなたが現時点で保有している知識や技術のうち、その進歩に貢献できると思うものをその理由とともに挙げてください。</p>

未来科学部 ロボット・メカトロニクス学科の課題は次頁にあります。

未来科学部

学科	課題
メカトロニクス学科	<p>本学科における学びの中心はメカトロニクス技術である。</p> <p>1. 「メカトロニクス」の定義とその変遷について、文献等を調査してまとめなさい。その上で、今後メカトロニクスはどのように発展するか、自らの考えを述べなさい。</p> <p>2. あなたが日常的に使用するメカトロニクス製品を例に挙げ、「機械」「電気電子」「情報」「制御」の4つの分野がそれぞれどのようにその製品に関わっているか述べなさい。また、その製品を作るのに必要なメカトロニクス技術に対して数学がどのように関わっているのかについて文献等を調査し、自らの考えとその根拠を述べなさい。</p> <p>以上の1、2の課題全てについて述べなさい。</p> <p>また、文献やWEBに掲載されている図・イラスト・表は、そのまま転載せず、それらをもとに作図、または表を作成するようにし、画像については、自ら撮影したもののみを使用しなさい。</p>

工学部

学科	課題
電気電子工学科	<p>近頃「～世代はタイパを重視する」等の言葉を耳にすることがあります。見やすいカタカナ新語辞典第5版（三省堂）によれば、タイパとはタイムパフォーマンスの略で、「費やした時間に対して得られる成果・満足度の割合」を意味するそうです。活動報告書に記載した内容を含めて以下の2点に回答しなさい。</p> <p>(1) あなたがこれまで取り組んできた内容について、タイパを重視すべき・重視しななければならないと思う事柄をいくつか挙げ、その理由を述べなさい。更にそれらについてタイパを上げるための方策・アイデアを述べなさい。</p> <p>(2) あなたがこれまで取り組んできた内容について、タイパを重視してはならないと思う事柄をいくつか挙げ、その理由を述べなさい。</p>
電子システム工学科	
応用化学科	
機械工学科	
先端機械工学科	
情報通信工学科	

学系	課題
理学系	<p>以下の A、B の課題の中から 1 つ選び、答えてください。なお、これは 2 次選考において行う「課題プレゼンテーション」のテーマ、および概要となります。</p> <p>(注) 入学した場合のコース配属と課題の選択は無関係です。</p> <p>[A] 高校で学んだ数学または情報の内容で、あなたが最も興味をもっているものを一つ挙げ、どのような点に興味をもったのかを説明しなさい。さらに、その内容についての定理または情報技術などの概略を説明し、どのような応用が考えられるか述べなさい。</p> <p>[B] 化学・物理に関連した実験、観測、発見、または材料について、自分が興味をもったトピックを一つ選び、以下の項目について具体的かつ詳細に論じて下さい。WEB や資料等から得た情報を用いる場合には、必ず出典を明らかにしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> そのトピックの目的や原理 そのトピックから得られた新しい知見や意義、または興味を惹かれた点 <p>以下に、化学・物理に関連した実験、観測、発見、または材料のトピック例をいくつか列挙します。この中から選ぶ必要はありませんが、トピックを選ぶときの参考にしてください。</p> <p>実験：ピサの斜塔実験、ジュールの実験、キャベンディッシュの実験、ミリカンの実験 観測：重力波の観測、ニュートリノの観測、ブラックホールの観測、ケプラーの法則 発見：本多-藤嶋効果、DNA の二重らせん構造、ファラデーの電気分解の法則、相対性理論 材料：ポリアセチレン、高温超伝導体、半導体、ネオジウム磁石</p>
生命科学系	<p>あなたは大学卒業後の社会においてどのような活躍を構想していますか？東京電機大学に入学した際の日々の取り組みとして何が必要であるかを具体化させることで、その将来構想を実現させやすくなると考えられます。</p> <p>この観点に基づいて下記(Q1)～(Q4)の問いに対して、回答してください。本学オープンキャンパスや総合型選抜(AO)のための体験型プログラム等でも、みなさんの将来構想をサポートする取り組みを実施しております。参加された場合はこれらを踏まえて回答していただいても構いません。</p> <p>(Q1) あなたは、大学卒業から 5 年後に<u>どのような場でどのような職に就き、何に取り組むたいと</u>考えていますか？現時点での将来構想を説明してください。</p> <p>(Q2) <u>その構想を立てている具体的な理由は何ですか？</u>これまでの経験に基づいて説明してください。</p> <p>(Q3) 上記 Q1 で記載した「将来構想」の実現可能性を高めるため、<u>どのような学びや取り組みの工夫</u>を考えていますか？</p> <p>(Q4) 生命科学系では、「医療・健康」、また「環境・食品」のベースとなる「生命科学」分野において、基礎から応用まで、教育および研究に取り組んでいます。これを踏まえ、上記 Q1 を実現させるために、あなたは大学入学後に<u>何をどのように学ぶか</u>について、<u>計画</u>を立て説明してください。</p> <p>回答では、以下の条件をすべて満たすよう注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記 Q1～Q4 全ての問題に回答すること。 ・Q1～Q4 に対して、番号(A1～A4)を付けて、各々 200 字以上、計 800 字以上で記載すること。 ・文献を最低 2 つは参照し、文献情報を記載すること。著者名、タイトル、出版社、参照情報が記載されたページ数、発行年、等詳細を記載すること。文献の選定も評価対象とする。また、書籍など著者が実名で明記されており、出版後の改変が不可能な文献を重視する。

学系	課題
情報システムデザイン学系	<p>2023年5月に新型コロナウイルス感染症（以降、新型コロナ）の位置づけが季節性インフルエンザと同等の5類へと移行しました。その意味で新型コロナは収束したと言えます。新型コロナが猛威を奮った数年間では、とくに対人関係において私たちの社会生活は急激に変化することを余儀なくされました。急激な社会生活の変化の必要はコロナ以前の社会生活の在り方を問い直す機会となり、情報技術の面でもコロナ以前とは異なる需要を生み出しました。</p> <p>このことについて、以下の設問に回答してください。なお、単に自分の考えを書くだけでなく、公表されている資料を引用しながら客観的な論述と考察を行ってください。また、引用した文献・資料はすべて末尾に列挙してください。</p> <p>設問1. 新型コロナが蔓延したとき、コロナ以前に比べてその需要（必要性）がとくに高まった情報技術をひとつ挙げて、関連する自らの体験を述べるとともに、その需要の高まりがコロナ渦中の社会生活のどのような変化に由来するのか、情報技術がコロナ渦中でどのような要望に応えるかを、コロナ以前の状況と対比させながら考察してください。</p> <p>設問2. コロナ渦中で普及した「新しい生活様式」の中には、その価値が新型コロナを経て再認識されたことで、新型コロナが収束した後も定着するものがあると予想されます。今後も定着すると思われる生活様式のうち、とくに情報技術が関連するものをひとつ挙げ、その情報技術に関してコロナ以前と以後でどのように人々の価値観が変化したかを考察してください。</p>
機械工学系	<p>これまでに実施したことのある物理実験や化学実験、あるいは体験や観測したことのある自然現象から興味を持った一つを挙げてください。その上で、(a)詳細な原理や内容、(b)なぜ興味を持ったのか、(c)エンジニアリングに応用された事例について説明してください。</p>
電子情報・生体医工学系	<p>あなたは現代社会における重要な問題を解決する立場にあるエンジニアと仮定してください。環境問題、超高齢社会、エネルギー問題などの中から、最も重要だと考える課題を一つ選び、その課題を工学的に解決するための具体的な計画を提案してください。また、その解決策の導入後に予想されるメリットとデメリットについても考察し、その社会的効果を予測してください。なお、以下の要件を満たすように記述してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. あなた自身が考案した具体的な技術や手法を詳細に説明すること。 2. あなたの提案に影響を与えた参考文献や情報源を3つ以上引用し、その内容を簡潔に要約すること。 3. あなたがこの問題に取り組む上での個人的な経験や見解を述べ、それが解決策にどう反映されているかを説明すること。
建築・都市環境学系	<p>最近では、建設業界が直面している問題を解決するために、デジタルトランスフォーメーション（DX）が積極的に取り入れられています。建築や建設の分野で使われているDX技術の中から、あなたが特に興味や関心を受けた技術の概要と理由をまとめ、その技術が持つ利点や課題について述べなさい。</p>

6. 文献引用の記載例

第1次選考提出課題における文献引用の記載例

本文（例）：

ハイブリッド自動車には、シリーズ方式、パラレル方式、スプリット方式がある [1]。その中でも最も販売実績がある方式は〇×社が製造・販売しているスプリット方式で、販売実績は 2012 年時点で 400 万台を超えている [2]。

．．．

しかしこれらのアイデアは現在の規制 [7] をクリアすることができておらず、実用化が難しい状況にある。このアイデアは問題解決のために大変に有効であるため、法整備も含めた検討を早急に行う必要があると考える。例えば、車種規制について以下のように改定すれば、現行の規制の趣旨に反することなく、このアイデアを取り入れることができると思われる。

．．．

本文末尾の文献リスト（例）：

文献

[1] 鈴木一郎、日野次郎、光岡三郎、「自動車技術ガイドブック」、茅場出版社、2015.03

[2] 〇×社、「H25 年プレス発表」：<www.marubatu-motors.co.jp/press2013/>、参照 2020.08.30

．．．

[7] 国土交通省、対象法令一覧, 自動車交通関係:<https://www.mlit.go.jp/onestop/hourei_.html#jidousya>、参照 2020.08.30

7. 第 1 次選考

総合型選抜（A O（アドミッション・オフィス））の第 1 次選考では、受験生より提出された第 1 次選考出願提出書類を総合的に判断し、第 2 次選考対象者を決定します。

8. 第 1 次選考合格発表

(1) 合格発表日

2024 年 10 月 8 日（火）13 時

(2) 発表方法

インターネット出願サイトのマイページより、合否照会を行ってください。

※合格発表日より、出願者全員が合否結果を照会できます。

※第 1 次選考に合格し、第 2 次選考への受験意思がある場合には、期間内に出願登録を行ってください。

※合否照会方法の詳細は巻末の「合否照会の方法」を参照してください。

9. 第 2 次選考の出願について

(1) 出願方法

第 2 次選考は、第 1 次選考合格者のみ出願が可能です。

巻末の「インターネット出願の手引き」を確認の上、手順に従って出願をしてください。

第 2 次選考の出願については、書類の郵送は不要です。インターネット出願サイトからの出願登録のみ行ってください。

(2) 入学検定料の納入について

入学検定料 25,000 円（第 2 次選考分）

① インターネット出願登録時に、「コンビニエンスストア」「クレジットカード」「ペイジー対応 ATM」から、いずれかのお支払い方法の選択が可能です。また、いずれの支払い方法においても、別途、事務手数料が必要です。事務手数料金額はインターネット出願サイトでご案内しております。

② 詳細は巻末の「インターネット出願の手引き」を参照してください。

※ 上記で選択した方法以外によるお支払いは一切できません。

(3) 受験票の発行および印刷

① 受験票発行日（「[2.選考日程等](#)」参照）以降に、各自でダウンロード・印刷（A4 サイズ、白黒・カラーいずれでも可）をしてください。（本学から受験票の郵送はいたしません。）

② 印刷した受験票は、選考当日に忘れずに持参してください。（紛失した場合、再度印刷が可能です。）

※ 受験票の発行方法は、巻末の「インターネット出願の手引き」を必ずご確認ください。

10.第2次選考の会場

学 部	選考会場（本学キャンパス）
システムデザイン工学部 未来科学部 工学部	<p>■東京千住キャンパス（東京都足立区）</p> <p>【アクセス MAP（交通案内）】 ★QRコード⇒</p> <p>https://www.dendai.ac.jp/access/tokyo_senju.html </p>
理工学部	<p>■埼玉鳩山キャンパス（埼玉県比企郡鳩山町）</p> <p>【アクセス MAP（交通案内）】 ★QRコード⇒</p> <p>https://www.dendai.ac.jp/access/saitama_hatoyama.html </p> <p>（※東武東上線 高坂駅(西口)からの無料スクールバスの時刻表もこちらに掲載します）</p>

11. 第2次選考の詳細

システムデザイン工学部

(1) 選考日および選考会場

選考日	2024年10月19日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
選考会場	東京電機大学 東京千住キャンパス (「10. 第2次選考の会場」 参照)

(2) 選考方法：以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容および時間
情報システム工学科	10:00～
デザイン工学科	プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価)

◆プレゼンテーションおよび個別面接について

学部が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーションおよび個別面接等を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接10分の合計20分程度)

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、志望する学科のアドミッションポリシーに基づき、受験生から面接委員に対して今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容、入学後に学びたい事、将来の夢、勉強意欲、入学意欲等を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

また、志望理由書および活動報告書等も参考に質疑応答を行います。

※口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ)です。黒板(またはホワイトボード)を使用する場合があります。

※口頭試問の出題範囲については、旧教育課程履修者(既卒者)にも配慮します。

(1) 選考日および選考会場

選考日	2024年10月19日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
選考会場	東京電機大学 東京千住キャンパス (「10. 第2次選考の会場」 参照)

(2) 選考方法：以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容および時間	
建築学科	10:00～	
情報メディア学科	プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価)	
ロボット・メカトロニクス学科	10:00～11:00 基礎学力試験	12:30～ プレゼンテーションおよび個別面接 (口頭試問を含む5段階評価)

◆プレゼンテーションおよび個別面接について

学科が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーションおよび個別面接を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接(口頭試問を含む)10分の合計20分程度)

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、志望する学科のアドミッションポリシーに基づき、受験生から面接委員に対して今までひたむきに打ち込んできた活動経験や学習内容、入学後に学びたい事、将来の夢、勉強意欲、入学意欲等を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

また、志望理由書および活動報告書等も参考に質疑応答を行います。

◆基礎学力試験(ロボット・メカトロニクス学科)について

数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数学C[ベクトル])、英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ)の基本的知識の確認として基礎学力試験(筆答:60分、100点満点)を行います。

※口頭試問の出題範囲について

学科	口頭試問の出題範囲
建築学科	一般選抜と同等の数学・英語・物理の基礎知識
情報メディア学科	数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数学C[ベクトル]) 黒板(またはホワイトボード)を使用する場合があります。
ロボット・メカトロニクス学科	基礎学力試験の範囲と同一

※基礎学力試験および口頭試問の出題範囲については、旧教育課程履修者(既卒者)にも配慮します。

(1) 選考日および選考会場

選考日	2024年10月19日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
選考会場	東京電機大学 東京千住キャンパス (「10. 第2次選考の会場」 参照)

(2) 選考方法：以下の選考方法により判定します。

学科	選考内容および時間
電気電子工学科	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接 (口頭試問を含む5段階評価)
電子システム工学科	
応用化学科	
機械工学科	
先端機械工学科	
情報通信工学科	

◆プレゼンテーションおよび個別面接について

学科が指定する場所において、面接委員に対しプレゼンテーションおよび個別面接を行います。(時間はプレゼンテーション10分、個別面接10分の合計20分程度)。

プレゼンテーションの時間は通常の個別面接とは異なり、受験生から面接委員に対して、今までの活動経験や学習経験の中から、特に誇れる事柄を自由にアピールしてもらいます。その際、制作物を持ち込んで披露したり、パソコンの画面を投影したり、ホワイトボードを利用することもできます。

※プレゼンテーションの準備にあたっては、次の点に留意してください。

- グループでの活動について述べる場合は、受験生自身の役割分担や貢献を明確にすること。
- 上級生等からの引き継ぎのある活動について述べる場合は、受験生自身による改善点や創意工夫を明確にすること。
- 公的資格について述べる場合は、当該資格について簡単に説明すること。
- アピールする活動経験や学習経験と入学後に学びたい事、将来の夢との関係に言及すること。

※口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ・数学Ⅱ)とする。

※口頭試問の出題範囲については、旧教育課程履修者(既卒者)にも配慮します。

(1) 選考日および選考会場

選考日	2024年10月19日(土)
集合時刻	9時30分(9時より受付開始)
選考会場	東京電機大学 埼玉鳩山キャンパス (「10. 第2次選考の会場」 参照)

(2) 選考方法：以下の選考方法により判定します。

学系	選考内容および時間
理学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 第1次選考課題に沿ったプレゼンテーションを10分以内で行い、個別面接を10分程度行う。プレゼンテーションは、パワーポイントなどPCを用いて行う。または持参した紙の資料を用いて行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数学C[ベクトル])、物理(物理基礎)、化学(化学基礎)のうち、出願時に選択した1科目の基礎知識とする。
生命科学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数学C[ベクトル]、数学Ⅲ)、物理(物理基礎、物理)、化学(化学基礎、化学)、生物(生物基礎、生物)のうち、出願時に選択した1科目の基礎知識とする。
情報システムデザイン学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B[数列]、数学C[ベクトル])と英語(英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ)の基礎知識、および時事問題とする。
機械工学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 第1次選考時に提出した「活動報告書」を中心に、ものづくり(ハード・ソフトのいずれも可)に関して、自分自身が主体的に取り組んだことを、10分以内のプレゼンテーションを通じてアピールすること。なお、プレゼンテーションには、資料・機材(パソコンを含む)・制作物(図面(CAD可)、ロボット、ラジコン、模型など)を使用しても良い。個別面接(口頭試問含む)を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学(数学Ⅰ、数学Ⅱ)、物理(物理基礎、物理)とする。ホワイトボード(または黒板)を使用しても良い。
電子情報・生体医工学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接(口頭試問を含む5段階評価) 活動報告書を中心に電気・電子工学分野と自分自身との関わりについてのプレゼンテーションを10分以内で行う。プレゼンテーションに用いる資料・機材(パソコン含む)・制作物等を持参してもよい。個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、物理(物理基礎、物理)の基礎知識とする。

(→次ページに続く)

建築・都市環境学系	10:00～ プレゼンテーションおよび個別面接（口頭試問を含む5段階評価） 活動報告書を中心に10分以内でプレゼンテーション、個別面接を10分程度行う。 口頭試問の範囲は、数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B [数列]、数学C [ベクトル]）、英語（英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ）の基礎知識とする。
-----------	--

※第2次選考では志望理由書、活動報告書、第1次選考提出課題も参考にし、個別面接で確認する場合があります。プレゼンテーションでは制作物を持ち込んで披露することや、パソコンやホワイトボード等を使用することもできます。

※口頭試問の出題範囲については、旧教育課程履修者（既卒者）にも配慮します。

12. 受験に際しての注意事項

- (1) 第2次選考は、第1次選考に合格した者だけが受験できます。
- (2) 第2次選考当日は、交通機関の遅れ等を考慮し、集合時刻に間に合うよう十分余裕をもって来場してください。万一、大規模な交通機関の遅れが発生した場合などは、本学 WEB サイト (<https://www.dendai.ac.jp/>) において、または出願時に登録したメールアドレスあてに受験対応等についてお知らせする場合があります。
- (3) 受験に際して宿泊を必要とする場合は、ご自身で手配をお願いします。
- (4) 第2次選考当日はインターネット出願サイトのマイページより印刷した第2次選考の受験票、生徒手帳(身分証明書)を持参し、指定の時間・場所にお越しください。
※未来科学部ロボット・メカトロニクス学科の受験生は筆記用具、昼食も持参してください。
- (5) 受験票には書き込みを行うことはできません(不正行為とみなす場合があります)。
- (6) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、その他の電子機器類は選考会場に入る前に必ず電源を切り、カバンにしまってください。選考中にこれらの音が鳴ることがあれば、カバンごと試験室外に持ち出します。
- (7) 個別面接等において、許可されていないものを身に付けていたり、手に持っているなどした場合、不正行為とみなすことがあります。
- (8) 未来科学部ロボット・メカトロニクス学科の基礎学力試験において、選考開始時間に遅刻した場合でも、当該選考終了時刻まで受験を認めます。
- (9) プレゼンテーションおよび個別面接において、集合時刻に遅刻した者は、受験できないことがあります。
- (10) 受験生並びに教職員のマスク着用は「個人の判断」に委ねます。マスクを着用される場合は、本人確認の為に一時的に着脱をお願いすることがあります。
- (11) 体調不良等により欠席した場合でも、原則として追試験や振替受験等の措置はございません。また、欠席・途中退室等の場合も、入学検定料の返還は行いません。
- (12) 今後の社会的動向等の変化により、選考方法や実施方法に変更が生じる可能性があります。その際には、本学 WEB サイト (<https://www.dendai.ac.jp/>) にて通知いたします。

未来科学部ロボット・メカトロニクス学科にて実施の基礎学力試験における注意事項

- (1) 基礎学力試験において机の上に置くことができる物は、受験票のほかは以下の通りです。
 - ・筆記用具：シャープペンシル、黒鉛筆、鉛筆キャップ、鉛筆削り(電動式・大型・ナイフ類不可)、消しゴム
 - ・時計：時計機能だけのもの。電卓・辞書・端末等の機能があるものや、スマートウォッチ等のウェアラブル端末、秒針音・アラーム音が鳴るものは使用不可。
 - ・その他：メガネ、目薬(箱から取り出したもの)、ハンカチ、ティッシュペーパー(中身だけ取り出したもの)。
 - ・予め許可されたもの^(※)

※ 試験中に座布団、クッション、タオル、ひざ掛け、手袋の使用を希望する場合は、基礎学力試験の開始前に試験監督者へ申し出て、許可を受けてください。これら以外のもの(持病の薬など)を使用したい場合は、事前に「受験上の配慮申請」により許可を受けることが必要です(30ページ参照)。
- (2) 基礎学力試験において次のことをすると、不正行為とみなすことがあります。不正行為と認められた場合は、その場で試験を中止させることがあります(それ以降の本学入学者選抜の受験も認めません)。
 - ・カンニング(試験内容に関係するメモ等の持ち込みや受験票への書き込み、参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わるなど)をすること。
 - ・使用を認められていないものを使用すること。
 - ・試験監督者の指示に従わず勝手に解答を始めた、終了の合図があっても解答を続けたりすること。
 - ・試験中に答えを教えるなど、他の受験生に利益を与えるような行為をすること。
 - ・試験室において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
 - ・試験室において試験監督者の指示に従わないこと。
 - ・志願者以外の者が、志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ・その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

13. 最終合格発表

(1) 合格発表日

2024年10月30日(水)13時

(2) 発表方法

インターネット出願サイトのマイページより、合否の照会を行ってください。

- ※ 合格発表日より、出願者全員が合否結果を照会できます。
- ※ 合格の場合、マイページから「合格者ポータルページ」にアクセスすることが可能となります。
- ※ 合格者ポータルページから、合格通知書および入学手続き金納入要項（振込依頼書を含む）のダウンロードおよび印刷が可能となります。
- ※ 詳細は巻末の「合否照会の方法」をご参照ください。

14. 入学手続

- (1) 入学手続を完了するためには、入学手続き金の納入が必要となります。納入は2段階方式です。
 - ① 下記の第1回入学手続期間内に、入学手続き金のうち、**入学金**を納入してください。
 - ② 下記の第2回入学手続期間内に、入学手続き金のうち、**授業料等**を納入してください。
(※ 入学手続き金の金額等は、「[15. 入学手続き金および初年度の学費等](#)」参照)。
- (2) 第1回および第2回入学手続き金の納入方法等をはじめとする、入学手続および入学後に関する連絡事項等については、インターネット出願サイトのマイページ内からアクセスできる合格者ポータルページより都度ご案内をいたしますので、合格発表日以降も引き続きご利用ください。詳細は、巻末の「入学手続の方法」をご参照ください。
- (3) 入学手続期間内に、入学手続き金の納入を完了しない場合は、入学辞退として扱います。
- (4) 入学手続き金の納入以外の必要な手続についても、合格者ポータルページにてご案内します。

■入学手続期間（2段階方式での入学手続き金納入）

第1回入学手続期間 ※入学金のみ納入	2024年10月30日(水)～2024年11月8日(金)
第2回入学手続期間 ※入学金を除く授業料等の納入	2025年1月10日(金)～2025年1月20日(月)

15. 入学手続金および初年度の学費等

- (1) 入学手続時には、「入学金」「授業料」「受託諸会費」を納入していただきます。
2025(令和7)年度入学生の入学金および初年度の学費等（授業料・受託諸会費）は、下表のとおりです。
授業料は、入学手続時に前期分のみを納入していただきます。
受託諸会費は、入学手続時に納入していただきますが、現在未定のため2024(令和6)年度の金額を記載しています。
- (2) 納入済の入学金については、いかなる理由があっても返還できません。
学費等（授業料・受託諸会費）については、入学を辞退する場合、所定の返還申請の手続きを行うことにより返還いたします（2025年3月31日までに申請が必要です）。
返還手続きの詳細は、合格者を対象に、本学インターネット出願サイト内の合格者ポータルページでご案内します（1月中旬頃掲載予定）。
- (3) 入学手続時に前期授業料のみを納入された方は、後期分の授業料を入学後に納入していただきます（7月頃、本学ポータルサイトにご案内するとともに振込用紙を送付）。
- (4) 入学後、休学される場合は、休学在籍料として半期60,000円の納入が必要です。

2025(令和7)年度入学生 入学手続金および初年度の学費等（授業料・受託諸会費）

（単位：円）

		入学金	授業料	受託諸会費 ^{注1}	合計	
システムデザイン工学部 (全学科共通)	入学手続金 (前期授業料を含む)	250,000	710,500	21,160	981,660	
	後期授業料	—	710,500	—	710,500	
	年額	250,000	1,421,000	21,160	1,692,160	
未来科学部	建築学科	入学手続金 (前期授業料を含む)	250,000	731,000	21,160	1,002,160
		後期授業料	—	731,000	—	731,000
		年額	250,000	1,462,000	21,160	1,733,160
	情報メディア学科 ロボット・メカトロニクス学科	入学手続金 (前期授業料を含む)	250,000	710,500	21,160	981,660
		後期授業料	—	710,500	—	710,500
		年額	250,000	1,421,000	21,160	1,692,160
工学部 (全学科共通)	入学手続金 (前期授業料を含む)	250,000	710,500	21,160	981,660	
	後期授業料	—	710,500	—	710,500	
	年額	250,000	1,421,000	21,160	1,692,160	
理工学部 (全学系共通)	入学手続金 (前期授業料を含む)	250,000	690,500	21,160	961,660	
	後期授業料	—	690,500	—	690,500	
	年額	250,000	1,381,000	21,160	1,652,160	

注1：受託諸会費…後援会費、自治会費、校友会費積立金、学研災、学研賠

16. 第2年次以降の学費等

<参考>

第2年次以降の学費は下表のとおりですが、留年した場合の学費等（授業料・受託諸会費）は、正規進級学年次の金額が適用されます。

学費は、一括もしくは前期・後期の年2回に分けて納入していただきます。

2025(令和7)年度入学生 第2年次以降の学費等（授業料・受託諸会費）（年額）

（単位：円）

		年次	授業料	受託諸会費 ^{注1}	合計
システムデザイン工学部 (全学科共通)		第2年次	1,445,000	未定	1,445,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,499,000		1,499,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,523,000		1,523,000 + 受託諸会費
未来科学部	建築学科	第2年次	1,486,000		1,486,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,540,000		1,540,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,564,000		1,564,000 + 受託諸会費
	情報メディア学科	第2年次	1,445,000		1,445,000 + 受託諸会費
		第3年次	1,499,000		1,499,000 + 受託諸会費
		第4年次	1,523,000		1,523,000 + 受託諸会費
ロボット・メカトロニクス学科	第2年次	1,445,000	1,445,000 + 受託諸会費		
	第3年次	1,499,000	1,499,000 + 受託諸会費		
	第4年次	1,523,000	1,523,000 + 受託諸会費		
工学部 (全学科共通)		第2年次	1,445,000	1,445,000 + 受託諸会費	
		第3年次	1,499,000	1,499,000 + 受託諸会費	
		第4年次	1,523,000	1,523,000 + 受託諸会費	
理工学部 (全学系共通)		第2年次	1,405,000	1,405,000 + 受託諸会費	
		第3年次	1,459,000	1,459,000 + 受託諸会費	
		第4年次	1,483,000	1,483,000 + 受託諸会費	

注1：受託諸会費…後援会費、自治会費、校友会費積立金、学研災、学研賠

17. 入学後に使用するパソコンについて

- 本学では、入学後、学生が各自でノートパソコンを保有し、授業中および予習・復習等の勉学に活用する教育が行われます。(ただし理工学部では、入学する学系によって、入学後すぐに購入する必要があるかどうかは異なります。)
 - 準備していただくノートパソコンの機能および性能(スペック)、学科・学系推奨機種等の詳細は、合格者(入学予定者)を対象に、本学インターネット出願サイト内の合格者ポータルページ等より、1月にお知らせします。
- ※入学後に、ノートパソコンの購入を含む、自己資質向上を目的とする学生を対象として、本学独自の奨学金制度(東京電機大学学生支援奨学金/貸与)が用意されています。詳細は入学後、奨学金担当窓口にご確認ください。

18. 入学前教育の実施について

【システムデザイン工学部・未来科学部・工学部】

本学では、合格者(入学予定者)に対し「入学前教育」を実施しており、DVDまたはWEBによる動画講義、レポート課題、添削指導などによる学習をしていただきます。登校の必要はございません。

詳細は、合格発表後(12月以降)にご案内いたします。受講料がかかりますが、入学予定者は特段の事情がない限り受講してください。

なお、実施科目、教育方法が学科によって異なりますため、受講料も学科によって異なります。費用の一部を大学で補助いたしますが、受講者には2万円から3万円のご負担をお願いすることになります。

【理工学部】

本学では、合格者(入学予定者)に対し、「入学前教育」を実施します。実施科目は、数学、物理学、化学、英語の4科目を予定しており、映像教材(DVD・WEB)をもとに自宅で学習し、添削課題を提出し理解度を深めていきます。この講座で学ぶ内容は大学での基礎教育に直結しているだけでなく、将来の専門教育の基礎としても必要不可欠な内容となりますので、全員の方が受講されることを希望しております。

受講料につきましては、費用の一部を大学で補助いたしますので、受講者には2万円から2万3千円のご負担をお願いすることになります。

「入学前教育」の詳細は、合格発表後の12月以降に、本学インターネット出願サイト内の合格者ポータルページ等よりご案内いたします。

19. よくある質問

■出願について

Q.	総合型選抜（AO）は、他大学との併願は可能ですか？
A.	総合型選抜（AO）は、「本学が第一志望であること」が出願資格となっています。よって、他大学との併願はご遠慮ください。

Q.	履修科目の要件を満たしていないのですが、出願はできないのでしょうか？
A.	出願資格として指定する履修科目の要件は、必ず満たす必要があります。なお、指定された履修科目が所属の学校では開講されていないことから履修できない場合には、事前審査により出願資格の有無を判断します。この場合には指定期日までに必ず本学入試センターにお問い合わせください。現在学校に所属している場合には生徒本人ではなく、必ず学校関係者からお問い合わせいただくようお願いいたします。

Q.	第1次提出課題についての質問は可能ですか？
A.	申し訳ございませんが、要項上に記載された内容以外についてはお答えできません。

Q.	出願登録を行い、入学検定料を支払った後に、出願登録内容の間違いに気づきました。どのようにすればよいですか？
A.	インターネット出願サイト「よくある質問」の「間違い・修正」の項目をご確認ください（ご不明な点は本学入試センターへお問い合わせください）。

Q.	インターネット出願サイトで登録した顔写真の変更は可能でしょうか？
A.	原則は変更できませんが、やむを得ない理由がある場合は、本学入試センターまでお問い合わせください。なお、顔写真は入学後の学生証にも使用されます。

Q.	受験票が自宅に郵送されませんが、なぜでしょうか？
A.	受験票は郵送しておりません。受験票発行日にインターネット出願サイトのマイページ上で受験票（PDF）を公開しますので、印刷をして、選考当日に忘れずに持参してください。

■受験当日について

Q.	受験会場において保護者控室はありますか？
A.	保護者控室は用意しておりません。

Q.	受験会場に自家用車で来ることは可能でしょうか？
A.	可能ですが、学外者向けの専用駐車場が無いことや、交通渋滞等により集合時刻に遅刻した場合についても受験上の特段の配慮は行わないことなどから、可能な限り鉄道等の公共交通機関の利用を推奨します。なお、埼玉鳩山キャンパス会場（理工学部）においては、東武東上線・高坂駅(西口)からの無料スクールバス利用が可能です。

Q.	理工学部を受験するのですが、東武東上線・高坂駅からのスクールバス時刻表を教えてください。
A.	本学スクールバス時刻表を WEB サイトにてご案内しております（ 「10. 第2次選考の会場」 を参照ください）。 また、受験当日は高坂駅（西口）より臨時ダイヤ（時刻表）でのスクールバス運行を行う予定のため、選考当日の2週間前までには同ページ内で時刻表の掲載をいたします。 なお、高坂駅以外から発車するスクールバス（北坂戸駅、熊谷駅、鴻巣駅）については、主に本学学生等を乗車対象としていますので、受験生のご利用はお控えください。

Q.	昼食の際に学生食堂（学食）の利用は可能でしょうか？
A.	土曜日のお昼（休憩時間）など、学食が営業している時間帯であれば利用することは差し支えありませんが、営業日時は不定期であり、かつ混雑時には、午後の再集合時刻に間に合わなくなる可能性もありますので、なるべく昼食を持参して、試験室内でお召し上がりください。

Q.	個別面接の終了予定時間を教えてください。
A.	個別面接は決められた順番に行いますので、終了時間は一人ひとり異なります。事前にお知らせすることは出来かねますので、ご了承ください。

Q.	口頭試問の実施方法、内容について教えてください。
A.	口頭試問の実施方法、内容などについては、入学者選抜要項でお知らせしていること以外はお答えすることはできません。

Q.	受験当日に欠席することになりましたが、事前に大学への連絡は必要ですか？ また、追試や振替受験などは別途ありますでしょうか？
A.	受験当日に欠席する場合は、お早めに本学入試センターへご連絡をお願いします。 なお、如何なる理由の欠席であっても、追試や振替受験などの実施予定はなく、入学検定料の返還もいたしかねますのでご了承ください。

Q.	電車が遅延しており、集合時間に間に合いません。どうしたらいいのでしょうか？
A.	大幅な電車遅延など、やむを得ない事情があると本学が認めた場合に限り、特別に受験上の配慮（試験時間の繰下げなど）をすることもありますので、電車等から降りた際に本学入試センターにご連絡のうえ、落ち着いて会場にお越しください（振替輸送等を行っている場合は、そちらを利用してください）。 ただし、自家用車・路線バスなどの道路渋滞等、その他自己の都合（寝坊など）による遅刻については原則として特別な配慮はいたしません（遅れて到着した場合も遅刻扱いとなります）。 なお、大幅な電車遅延などが発生しており、多くの受験生に影響がある場合に限り、本学 WEB サイト (https://www.dendai.ac.jp/) でも受験時の対応などについてお知らせする場合があります。

■入学手続について

Q.	入学手続期間について、第1回と第2回で分かれているのはなぜですか？
A.	第1回の入学手続期間は、入学手続金のうち入学金のみを納入していただく期間です。 その後の第2回入学手続期間については、入学手続金のうち入学金を除いた、授業料等を納入していただく期間となります。それぞれの納入時期に合わせて合格者ポータルページにて詳細を案内しますので、忘れずにご確認ください。なお、入学手続期間内に入学手続金の納入が行われなかった場合は入学辞退となりますので、入学希望者は忘れずに期間内に納入してください。（詳細は「 14.入学手続 」参照）

■その他

Q.	昨年度の受験者数や合格者数について知りたいです。
A.	以下の WEB サイト上でご案内しております。 (https://www.dendai.ac.jp/about/admission/nyushi_data/)

Q.	過去の第1次提出課題や未来科学部ロボット・メカトロニクス学科実施の基礎学力試験の過去問題は公開していますか？
A.	総合型選抜（AO）については、過去問題（課題含む）の公開は行っていません。

20. その他

(1) 障害等がある方への受験上の配慮および入学後の支援（合理的配慮）について

本学受験に際し、障害ならびに病気・負傷等およびその他事由により、受験上の配慮を必要とする場合は、以下の本学 WEB サイトからの申請が必要です。必要な方は、原則として出願開始日の2週間前までに申請してください。

【URL】 <https://www.dendai.ac.jp/about/admission/undergraduate/gouritekihairyo.html>

なお、本学への入学に際して、障害のある方などで、修学上の支援（合理的配慮）を必要とする場合の事前の確認方法等についても、上記の WEB サイトにてご案内しております。

(2) 高等教育の修学支援新制度について

本学は、文部科学省「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定されています。また、全学部が本制度第IV区分（私立理工農系）の対象機関です。

本制度は、大学等における修学の支援に関する法律に基づき、経済的な理由で進学や修学を断念することがないよう、所定の要件を満たした学生を対象に、授業料および入学金の減免ならびに給付型奨学金の支援を受けることができるものです。

本学では、合格後の入学手続においては、給付型奨学金の採用候補者を対象として、入学金を除いた入学手続金（授業料等）の延納申請受付を行います。（申請により2025年3月25日まで延納可。）

採用候補者を対象とする延納手続方法の詳細については、9月頃をめどに、本学 WEB サイトにてご案内予定です。（<https://www.dendai.ac.jp/prospective-students/>）

なお、原則として、日本学生支援機構の給付型奨学金の第Ⅰ～Ⅳ区分に採用となった方が、本制度における授業料等減免の対象者として認定されます。

給付型奨学金の採用候補者は、入学後に各キャンパスの学生厚生担当窓口にて、給付型奨学金ならびに入学金および授業料減免の申請を行ってください。申請手続は、例年4月上旬頃に「進学届」の提出等となります。

（<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/moshikomi/yoyaku/yoyakukouhosha/index.html>）

また、高等教育の修学支援新制度は、入学後に新規申請を行うことも可能です。

いずれの場合も、入学金および前期分授業料の減免対象者として認定された後、減免相当額を還付（例年7月～8月頃予定）します。

(3) 国の教育ローン（日本政策金融公庫）制度について

本学に入学・在学する学生・保護者の方は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を申し込むことができます。「国の教育ローン」は、教育に必要な資金を融資する公的な制度です。

詳細は、下記日本政策金融公庫の WEB サイトをご覧ください。教育ローンコールセンターに直接お問い合わせください。

日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター

T E L : 0570-008656 または 03-5321-8656（月～金 9:00～19:00）

日本政策金融公庫 国の教育ローン WEB サイト

<https://www.jfc.go.jp/n/finance/search/ippan.html>

(4) 日本国以外の国籍を有する方が本学へ入学する際の注意事項

日本国以外の国籍を有する者は、本学入学時に出入国管理および難民認定法に基づく本邦で活動するために必要とされる適切な在留資格を保有している必要がありますので、ご自身で事前に必ずご確認ください。在留資格に関して、ご不明な点があれば、本学入試センターまでお問い合わせください。

(5) J A B E E プログラムについて

技術者教育の分野では国際的な同等性を確保することが重要であり、本学では JABEE (Japan Accreditation Board for Engineering Education : 日本技術者教育認定機構) の認定を受けた教育プログラムを実施しています。JABEE プログラム修了者は、国際的に通用する技術者に必要な基礎教育を完了したものと見なされ、将来技術者として海外で働く場合にも有効な手助けとなります。

【工学部電気電子工学科 J A B E E プログラム】

- 電気電子工学科では、J A B E E (日本技術者教育認定機構) 認定技術者教育対応プログラムを実施し、必要要件を満たした場合は J A B E E プログラム (電気・電子および関連の工学分野) 修了生とする予定です。
- J A B E E プログラムを修了しますと、技術士 (国家試験) の第一次試験が免除され「技術士補」の資格を得ることができ、専門技術者としての活躍の場が拡大します。

【理工学部理工学科建築・都市環境学系 J A B E E プログラム】

- 理工学部では 2 年次進級時に主コースと副コースを選択します。このうち、建築・都市環境学系の建築コースと都市環境コースのうち、いずれかを主コース、他方を副コースとして選択し、必要要件を満たした場合は J A B E E 教育プログラム (土木および関連の工学分野) 修了生とすることが可能です。詳細は、建築・都市環境学系 (049-296-0307) に直接お問い合わせください。
- J A B E E プログラムを修了しますと、技術士 (国家試験) の第一次試験が免除され技術士補の資格を得ることができ、専門技術者としての活躍の場が拡大します。

インターネット出願の手引き

出願は、この手引きに従って以下の手順で行ってください。

インターネット出願登録だけでは出願が完了しません。

必ず「志願票」および出願書類を郵送してください。

※第1次選考に合格し、第2次選考に出願する場合には、書類の郵送は不要です。

〔出願手順〕

- STEP 1 予め写真データを準備してください
- STEP 2 インターネット出願サイトで必要事項を登録してください
- STEP 3 入学検定料を納入してください
- STEP 4 出願書類を郵送してください
- STEP 5 出願が受理されるまでお待ちください
- STEP 6 受験票発行日に受験票を確認してください

■ インターネット出願における注意事項

- インターネット出願登録で不具合が起きた時は、必ず東京電機大学入試センターまでお問い合わせください。特に出願期間終了後は一切の対応ができかねますので、必ず出願期間内に余裕をもってご連絡ください。
- この手引きに掲載している画面の構成や内容は変更される場合があります。実際の画面の指示に従って操作してください。

STEP1 予め写真データを準備してください

インターネット出願登録の過程で、顔写真データをアップロードする手順があります。予め写真データを準備してください。

〔登録する写真データの要件〕

- ファイルサイズが 20MB 以下であること。
- ファイル形式は JPEG（拡張子「.jpg」「.jpeg」）もしくは PNG（拡張子「.png」）であること。
- 縦横の比率は任意です（インターネット出願登録の際に、画面上で確認しながら指定する比率に切り抜きます）。

〔注意点〕

- 出願 3 ヶ月以内に撮影したもので、上半身、正面、脱帽、背景は無地に限ります。
- 個人が特定しづらいもの、およびアプリ等で加工したものは受付できません。
- 出願時にアップロードした写真は、本学に入学した場合に学生証の写真として使用しますので、私服をおすすめします。
- 紙の写真は使用できません。また、紙の写真をスマートフォン等で撮影したものも使用できません。必ず本人を直接撮影してください。

〔適切な写真の例〕



- * 背景は無地（白、青、またはグレー）の壁をバックに撮影してください。
- * 壁に近づきすぎると影が濃く出て輪郭が分からなくなる恐れがあります。
- * 蛍光灯の下で撮影すると顔に影がかかってしまう恐れがあります。

〔適切でない写真の例〕 以下のような写真は受付できません。



背景や顔に影がある



枠からはみ出ている



小さく写っている



背景が無地でない/他の物が写り込んでいる



ぼやけている



髪で目元や顔の輪郭が隠れている



正面を向いていない



照明がメガネに反射して目元が鮮明でない

STEP2 インターネット出願サイトで必要事項を登録してください

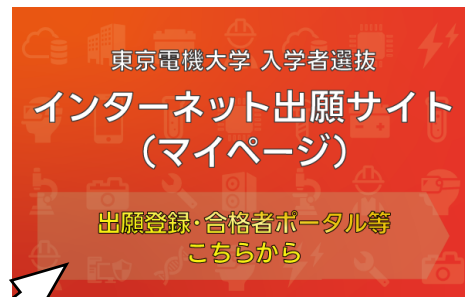
インターネット出願サイトは出願開始日の **10:00** から出願登録ができるようになります。

STEP2- (1) 本学 Web サイトから、インターネット出願サイトにアクセスしてください。

出願期間中は、本学の Web サイトに「インターネット出願サイト」にリンクしたバナーを掲出します。本学の Web サイトで、出願する選抜の最新の情報を確認したうえでバナーをクリックして、「インターネット出願サイト」へ移動してください。

〔東京電機大学 受験生・高校生の方〕

<https://www.dendai.ac.jp/prospective-students/>



※バナーのデザインは変更される場合があります。

STEP2- (2) 画面の指示に従って必要事項を入力してください。

マイページを作成後、新規出願や出願履歴の確認等を行うことができます。また、出願登録及び入学検定料納入完了後には志願票や受験票の印刷、合格者ポータルページの参照等を行うことができます。



①出願登録開始 (マイページ登録)



②マイページ (出願する選抜・学部・学科・学系を選択)



③出身校の登録 (※選抜種別によってはこの画面を利用しない場合もあります)



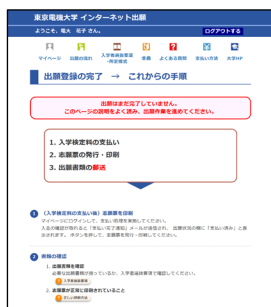
④個人情報等の登録



⑤写真の登録



⑥出願登録内容の確認



⑦登録完了画面 (まだ出願は完了していません)



⑧マイページに戻る (STEP3 入学検定料の納入に進む)

※ 本学システムで扱うことができない漢字は、受験の際に使用することができません。

利用できない漢字を入力した場合は出願登録画面でエラーとなりますので、代替の漢字を使用してください。

STEP3 入学検定料を納入してください

出願登録が完了したら、マイページに戻り、「出願登録を完了して支払う」ボタンを押してください。画面の指示に従って支払い方法を選択・確定し、各支払い方法に従って入学検定料を納入してください。



①マイページで「出願登録を完了して支払う」を押す



②支払い方法を選択する



④納入が完了すると「支払い済み」が表示され、志願票が出力できるようになる

③入学検定料を納入する

お支払い方法

コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)のいずれかでお支払いください。

コンビニエンスストア

現金支払い

コンビニ設置のATMは利用できません。コンビニでは現金のみの取扱いとなります。

ローソン・ミニストップ LAWSON	ファミリーマート FamilyMart	デイリーヤマザキ 	セイコーマート Seicomart	セブンイレブン
[Loppi]	[Famiポートまたはマルチコピー機]	[レジへ]	[レジへ]	[レジへ]
[各種番号をお持ちの方]を選択	[代金支払い]を選択	レジで「オンライン決済」を申し込む	レジで「インターネット支払い」と伝える	店員の方へ「インターネット支払い」をする旨を伝え、「払込票番号」を伝えます。発行した「払込票」を渡しても構いません。
[受付番号(6桁)]を入力し、[次へ]ボタンを押す	Famiポート: [各種番号をお持ちの方はこちら]	レジ画面で決済番号を入力	お客様側のレジ画面にて [受付番号] [確認番号]を入力	
お申込み時に登録した電話番号を入力し「次へ」を押す	マルチコピー機: [番号入力]	内容確認後、レジでお支払い	支払い内容の確認画面が表示	お支払い
内容確認後、「了解」ボタンを押す	Famiポート:[企業コード][注文番号] マルチコピー機:[第1番号][第2番号]		OKを押してお支払い	
端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い	端末から出力された申込券を持ってレジでお支払い			

※支払方法、コンビニは変更になる場合があります。
※店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

金融機関ATM(ペイジー)

現金支払い/キャッシュカード

クレジットカード

ゆうちょ銀行・pay-easy対応ATMを利用	お客様番号・確認番号を入力						
[税金・各種料金(ペイジー)]を選択	支払い方法を選択(現金またはキャッシュカード)し、検定料を支払う	※現金取扱いの場合は、検定料の総額が10万円未満の場合のみ支払いが可能です。10万円を超える場合は、キャッシュカードを利用してください	VISA, Master, JCB, American Express, Diners				
取納機関番号を入力			※カードの名義人は受験生本人でなくとも構いません				

■注意事項

- 支払方法を確定すると、実際の入金の有無に関わらず出願内容の変更・取消・修正はできなくなります。支払方法の確定をする前に必ず出願内容を再確認してください。
- ローソン・ミニストップ・セイコーマート支払いの場合は、マイページに入金情報が反映されて志願票が印刷できるようになるまでに最長で2時間程度を要する場合があります。この反映までの時間を理由とした出願期限の延長はいたしませんので、余裕をもって出願手続きを行ってください。
- 一度納入された入学検定料は返還しません。ただし、本学が定める入学検定料返還事由に該当し、所定の方法で行った申請が本学によって受理された場合のみ、入学検定料を返還します。詳細は以下の本学ホームページよりご確認ください。

[東京電機大学入学者選抜/大学院入試 入学検定料返還申請について]

https://www.dendai.ac.jp/about/admission/undergraduate/kenteiryuu_henkanshinsei.html



※ 第1次選考に合格し、第2次選考に出願する場合には、このSTEP4の手順は不要です。

STEP4 出願書類を郵送してください

出願登録が完了し、入学検定料を納入すると、「志願票」が印刷できるようになります。



「志願票」と、出願に必要な書類（本要項内の「出願について」の項目を参照）を本学へ郵送してください。例え出願登録を完了し入学検定料を納入していても、定められた期限までに「志願票」および出願書類一式を送付しないと出願となりません。

〔郵送方法〕

出願登録完了後、マイページより「志願票」と共に「宛名ラベル」を取得できますので、市販の**角型2号の封筒**に印刷した「宛名ラベル」を貼り、「志願票」および出願書類一式を入れて、必ず**郵便局の窓口より簡易書留・速達**で郵送してください。

STEP5 出願が受理されるまでお待ちください

出願状況は、マイページに表示されます（メール等での通知はいたしません）。**出願状況が「受理」に変わるまで、最長で受験票発行日までかかります。**ご自身で具体的な不備があったことに気付いた場合を除き、受験票発行日より前に受理状況をお問い合わせいただくことはご遠慮ください。

STEP6 受験票発行日に受験票を確認してください

受験票が発行されていない場合は受験できません。必ずマイページ上で受験票が発行されたことを確認してください。

- 受験票は、インターネット出願登録、入学検定料の納入、出願書類送付の全てを完了させ、本学で出願書類が受理された方のみ、**受験票発行日の13:00**以降にマイページからPDFファイルとして取得できるようになります。紙の受験票は発行しません。また、本学からハガキ等で受験票を郵送することはありません。
- 受験票発行日を過ぎてもマイページから受験票が取得できない場合は、必ず東京電機大学入試センターに電話で連絡をしてください。受験票が発行されていない場合は受験ができません。
- 試験当日は、必ず**A4サイズ・タテ向き**で印刷した受験票を試験会場に持参してください。スマートフォンの画面提示等では受験できません。

〔受験票の取得方法〕

マイページから「受験票を表示する」のボタンを押して、受験票を取得してください。



東京電機大学入試センター 受験票	
受験番号	
氏名カナ	
姓	
名	
姓	
名	
受験科目	
集合時刻	
試験場	
<p>この受験票を本会場に印刷して、試験当日に持参してください。 印刷できない受験票を印刷できない場合は、事前に印刷して受験会場から本学に送付してください。 受験票の印刷は、受験開始前日まで有効です。</p>	
<p>TDU 東京電機大学</p>	
<p>■ Web出願登録情報の確認 印刷されている受験票と正しい受験票とを照合してください。もし間違いがあった場合は、すぐに下記に連絡してください。</p>	
<p>■ 注意事項 ○ 試験会場の変更はできません。記載されている試験会場を受験してください。 ○ 入試や交通機関の大幅な変更などにより、試験で試験会場に到着できない場合は、事前に印刷して安全な場所から下記の番号に電話してください。</p>	
<p>■ お問い合わせ先 東京電機大学 入試センター 03-5284-5151</p>	
<p>■ 印刷会場へのアクセス https://www.dendai.ac.jp/access/</p>	

合否照会の方法

合否発表は以下の方法で行います。

発表方法	合否発表日時	発表対象者
Web 合否照会 (マイページより)	合格発表日当日 13:00 ~	全志願者



- ① マイページにログインして、「合否照会」のボタンを押してください。
- ② 移動先のページの指示に従って、合否を確認してください。

※画面の構成は変わる場合があります。実際の画面に従って操作してください。

注意事項

- 合格発表は、志望した学科・学系の受験番号で発表します。
- 電話・メール等による合否結果についての問い合わせには一切応じられません。
- 表示内容の正確性には万全を期しておりますが、個々の閲覧環境が原因で表示に乱れがあっても、本来の合否結果が変更されることはありません。
- 合格通知書は送付されません。合格者ポータルページから電子ファイル（PDF）が取得できます（次頁の「入学手続の方法」を参照）。

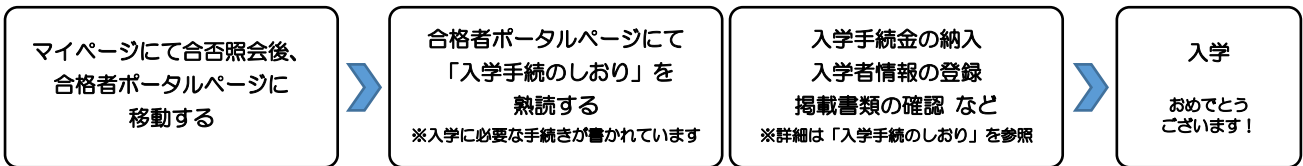
合否照会が続いて行うこと

- 入学の意思がある場合は、合否照会が続いて、定められた期限までに入学手続を行う必要があります。次頁の「入学手続の方法」に沿って手続を行ってください。

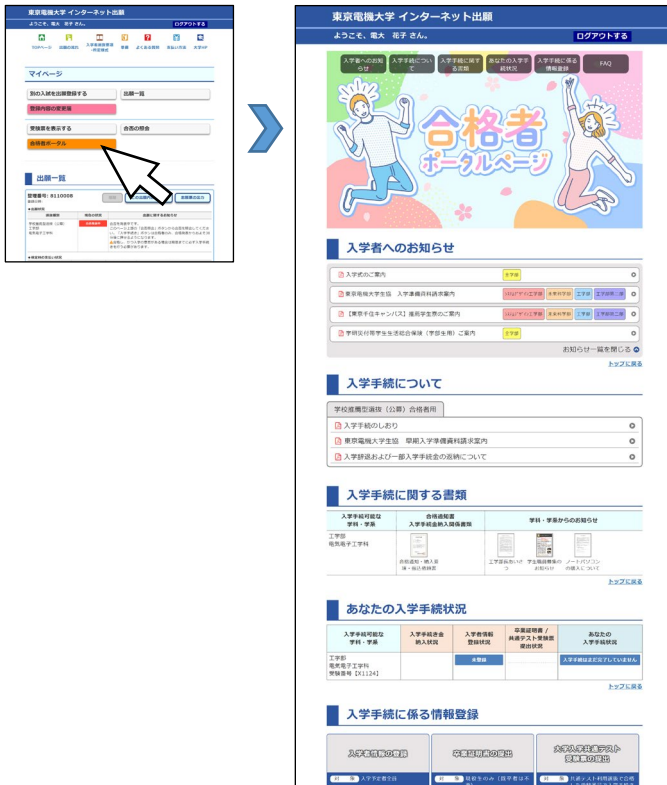
入学手続きの方法

入学手続きは、受験生自身で「合格者ポータル」ページ上での案内と掲載資料を確認のうえ、進めていただきます。期限までに手続きを行わない場合は入学辞退者として扱いますので十分に注意してください。

入学手続きの流れ



〔合格者ポータルへの移動方法と入学手続きについて〕



- ① 予めマイページにて合否照会を行ってください（前頁を参照）。
- ② 合格者ポータルページへの入り口ボタンは、合格者のみが、各選抜の合格発表後 30 分程度で押せるようになります。ボタンが押せるようになったら、合格者ポータルページに移動してください。
- ③ **まず最初に、合格者ポータルページに掲載されている「入学手続きのしおり」を熟読してください。入学に必要な具体的な手続きはすべてこれに記載されています。**
- ④ 「入学手続きのしおり」で説明されている、各種の書類（合格通知書、入学手続き金納入要項、入学手続き金振込依頼書等）は、合格者ポータルページから電子ファイル（PDF）で取得できます。

※画面の構成は変わる場合があります。実際の画面に従って操作してください。

注意事項

- 合格者であるにも関わらず、合否発表後 30 分以上経っても合格者ポータルページに移動できない場合は、すぐに本学入試センターへ電話にてお問い合わせください。パソコンや出願サイトの不具合も含め、いかなる理由があっても手続き期間の延長はいたしません。**お問い合わせは必ず手続き期間内に余裕をもって行ってください。**
- 入学の意思がある場合は、必ず合格した選抜種別の入学手続き期間内に入学手続き金を納入してください。**入学手続き期間内に入学手続き金の納入を完了しない場合は、入学辞退者として扱います。**